



結果

1. 研究の多くは精子等を直接固定・解析するもので、受精卵を使用したものは不妊治療そのものの工夫、または廃棄予定胚を用いたもののみであった。
2. 精子と卵子を用いて新たに受精をおこすものは、受精過程、又は新しい治療のための研究として必要なものと考えられる。非常に新しい技術の場合、移植を前提としない約束で夫婦間の受精をおこすものも見られた。
4. 動物配偶子との融合（受精？）を要する実験も見られた。
5. 研究を施行する医療機関は研究機関を含まないものもあり、倫理委員会設置の便宜をはかるなどを考慮すべきである。